



出雲駅伝初出場への切符を掴んだ東海学生駅伝・優勝の瞬間

創立50周年記念特集 第3弾 ②

- ◇新食堂竣工 (3月)
- ◇第2体育館竣工 (5月)
- ◇記念式典・講演会 (6月1日)

4月から学校法人大垣総合学園がスタートします ⑭

キャンパス整備事業の紹介

新食堂

Cafe Rest 50 4月OPEN!

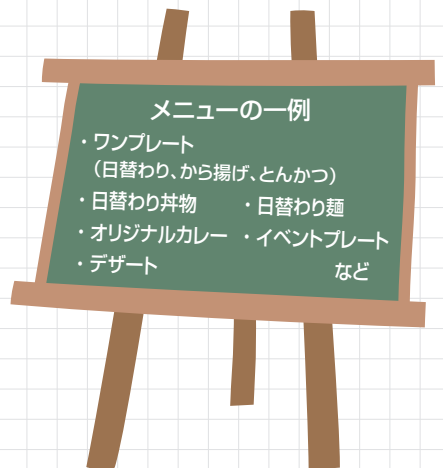


新食堂の運営業者決定にあたり、若手教職員を中心とした食堂プロジェクト会議による在学生へのアンケート実施や、食堂運営参入希望業者の試食会を行いました。試食会では学生会の代表学生も参加し、評価項目の中でも特に料理の美味しさという点が評価のポイントとなりました。その後、関係機関による参入業者についての審査の結果、新食堂の運営業者を株式会社LEOCとすることをしました。

新食堂の名称は、学生教職員からの応募の結果、「Cafe Rest 50(カフェレストファイティン)」に決定しました。50周年記念キャンパス整備事業の完成第1号として、春から新たな食堂で皆さんをお迎えます。スクールカラーを基調としたカフェスタイルの学食での、美味しく栄養バランスの取れたランチが、大学生活の楽しみをまた一つ増やしてください。



●営業時間／月～金曜日
11:00～14:00
(長期休暇中は別途案内)



株式会社LEOC 概要

1983年4月1日設立。札幌市での株式会社メディカル・サポートの設立が始まりです。現在、本社は東京都にあり、全国の大学をはじめ、病院・社会福祉施設、企業、スポーツ施設等にフードサービスを提供しています。なお、有名レストランなどとのコラボ実績も多数あり、本学新食堂でも、こうした実績を生かしたイベント食を随時提供したいとのことです。(運営実績:上智大学、日本体育大学、帝京大学、愛知学院大学、岐阜県立看護大学など)

岐経大オリジナル
いちおしメニューを紹介



オムライスセット

ふわふわたまごのオムライスにデミグラスソースをたっぷりかけてご提供いたします。つつい写真撮りたくなるようなオシャレなカフェメニューを大学のランチでお召し上がりください。

新食堂・第2体育館 完成間近

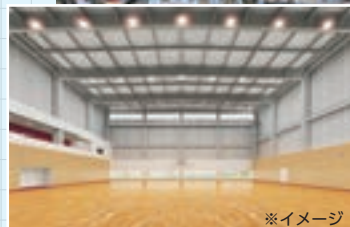
新食堂



西側は全面ガラス張りで明るく開放的です



3号館から見る新食堂・第2体育館



※イメージ

【第2体育館仕様】
バレーボール公式戦 2面、バスケットボール 1面
冷暖房完備、ロッカー室・シャワー室・多目的トイレ完備、音響設備完備

第2体育館



隣接する第2体育館は5月末に完成予定です

新2号館建設に伴い事務室が一時移転します ー本年8月から2018年7月までを予定ー

2017年度には、いよいよ新2号館の建設工事が始まります。新2号館は、現在の2号館と同じ場所に少し拡張された形で建設されます。そこで旧2号館の解体と新2号館の建設の間、現在の教務課、学生課、同スポーツ振興室、保健室は、それぞれ右記の図の場所に移転されることになります。教務課と学生課の場所が離れるなど、学生の皆さんにはご不便をお掛けしますが、ご理解のほどお願いいたします。新2号館には、学生窓口関係の教務課、学生課、キャリア支援課の各事務局が集約されるほか、学習支援機能が充実し、大学全体のシンボル棟となる予定です。

課・室名	移転先
① 教務課	9号館1階 電算事務室及び教材開発室
② 学生課	10号館1階 地域連携推進センター
③ スポーツ振興室	体育館2階 会議室
④ 保健室	8号館1階 介護・入浴実習室



ソフト事業
その1

ベトナム ダナン大学と教育交流及び 東南アジア特別奨学生に関する協定を締結

2016年11月25日、ベトナム第3の都市ダナン市にあり教育訓練省所管の地方総合大学であるダナン大学(The University of Danang)と本学との教育交流及び東南アジア特別奨学生に関する協定調印式がダナン大学で執り行われました。

調印式には、本学から石原健一学長がダナン大学に出向き、ダナン大学からはTran Van Nam学長の他にInternational Cooperation Department、ダナン大学傘下のダナン大学経済大学所属の教員など5名の教職員が出席されました。

本学はこれまで、学生の国際的通用性の涵養に資するために、中国、アメリカの大学と交流協定を締結し、学生相互の派遣、受入を行ってきました。

今回、ダナン大学とは、中国、アメリカの大学と同様の交流協定を締結するとともに、本学創立50周年記念事業の一環として、東南アジアで活躍する人材の養成を目的に東南アジア特別奨学生制度を創設し、東南アジアの大学に在籍する学生を、本学3年次にダブルディグリー制度の学生として受け入れる内容の協定も締結し、本学のグローバル教育の益々の発展が期待できる環境を整えました。また、両大学で実施する現地特別プログラムについて相互に協力することを約束し、このことにより、本学のベトナムでの現地プログラムの実施に力強いパートナーを得たこととなり、幅広い教育プログラムの開発が進むことが期待できます。

今後は、本学学生がダナン大学へ留学し、その成果を実社会で生かすとともに、ダナン大学の学生が本学を卒業し、地元企業に就職するなどの具体的な取り組みに進展することを期待します。



教育交流協定の具体的な内容

1. 両大学は留学を希望する学生を相互に派遣する。(1年又は半年)
2. 岐阜経済大学はダナン大学の学生を科目等履修生として受け入れる。
3. 両大学でそれぞれ実施する特別プログラムについて相互に協力する。

東南アジア特別奨学生協定の具体的な内容

岐阜経済大学はダナン大学の学生を東南アジア特別奨学生(本学3年次にダブルディグリー制度の学生)として受け入れる。

ダナン大学

1994年に創設された国家の拠点大学の一つである。理工学、経済学、師範学、外国語学、技術短期大学、技術情報短期大学及び多くの付属研究所・センターを有する。
学生数/92,000名(修士課程・博士課程所属の大学院生を含む)



ソフト事業
その2

マスコットキャラクター作成中!

50周年のシンボルマークにも使用されている「火の鳥」をモチーフとしたマスコットキャラクターを、現在作成しています。基本のデザインから、マークやポーズ、ニュアンスなどを修正していきます。修正作業には、学生会代表の皆さんにも参加してもらい、各クラブなどで出された意見を聞かせてもらっています。

完成したマスコットはクラブ活動での応援にも活用してもらいたいと考えており、6月1日の式典で配られる記念品にも使用される予定です。また、十万石まつり等、地域の行事に登場するかもしれません。



ソフト事業
その3

FM番組を提供

創立50周年記念事業の一環として、本学がFM番組を提供することになりました。FM GIFUの今年4月からの新番組で、4月1日から毎週土曜日、午前7時50分～7時59分に放送されます(サタ☆スポ内)。

番組のタイトルは「Morning cafe「re-Birth」」。このカフェは岐阜経済大学キャンパス内に存在する架空のカフェですが、4月にリニューアルオープンする新食堂をイメージしたものと考えていただくと良いでしょう。常連客の竹内治彦教授が毎週、地域の素敵なお客様を連れて来店するという設定です。

予定されているゲストは、(株)大垣共立銀行頭取 土屋嶋様、大垣商工会議所会頭(日本耐酸塩工業(株)会長)堤俊彦様、太平洋工業(株)社長 小川信也様、大垣西濃信用金庫会長 西脇史雄様等々、地域の政財界をリードされる皆様です。

毎回、ゲストの方から、こだわりのお茶のオーダーを受けたり、リクエスト曲として思い出の曲をご披露いただいたりすることで、お仕事上では見ることのできない、ゲストの皆様の横顔も拝見できる企画になっています。そして、最後に岐阜経済大学への期待も伺っていますので、本学学生の皆さんはその部分に注目して、期待に応えられるよう様々な活動に精進していただきたいと思っております。

ラジオ収録打ち合わせ風景



(株)大垣共立銀行 土屋嶋頭取



日本耐酸塩工業(株) 堤俊彦会長

ソフト事業
その4

新聞広告・Web広告の展開

本学の土屋嶋理事長と石原健一学長、中日新聞社代表取締役社長の小出宣昭氏の3者による紙面対談広告を、12月23日(祝)の中日新聞(全国版)に掲載しました。

また、YDN(Yahoo!ディスプレイアドネットワーク)と呼ばれるWeb広告を掲出し、オープンキャンパスや入試とともに、大学の創立50周年をPRしました。



YDN (Yahoo! ディスプレイアドネットワーク)



2016年12月23日 中日新聞掲載



**岐阜経済大学
創立50周年記念式典
2017年6月1日(木)**

第一部 記念式典(13:30~13:55) 会場:岐阜経済大学 講堂

- ・大垣女子短期大学ウインドアンサンブルライブ
- ・大学50年のあゆみ(ビデオ紹介)
- ・開式の辞
- ・理事長挨拶
- ・式辞
- ・祝辞
- ・来賓紹介
- ・祝電披露
- ・創立50周年宣言
- ・閉式の辞

記念講演(14:00~15:15) 会場:岐阜経済大学 講堂
造園家・ランドスケープアーキテクト 湧井 雅之氏

第二部 祝賀会(15:30~16:30) 会場:岐阜経済大学 新食堂 ※招待者

学びの伝統・目指せ優秀賞!

第44回 学内ゼミナール大会開催



岐阜経済大学恒例の学びのイベント「学内ゼミナール大会」が12月7日(水)に開催され、44回目となる今年は33演習・38チームが参加し、これまでゼミナール(演習)で積み重ねてきた研究の成果を報告しました。

テーマは金融、IoT、CG、自動車産業、地方財政、オリンピックやアスリート心理など実に幅広いもので、審査員の先生方による審査の結果、以下のチームの皆さんが表彰されました。

篠田ゼミB



石坂ゼミB



藤井ゼミ



結果	教室	ゼミ名	演習	テーマ
優秀賞	4101	菊本ゼミC	演習II・I	観光で地域は活性化できるのか
	5101	藤井ゼミ	演習II	高山市財政の現状と課題
	5201	石坂ゼミB	演習II	マクドナルド社の業績回復と今後の課題
	6201	菊本ゼミA	演習II・I	中心市街地から考えるコミュニティカフェの在り方
	講堂	篠田ゼミB	演習II	朝食～breakfastをブレイクすると?～
2位	4101	中西ゼミ	演習II	なぜセブンイレブンは"王者"であり続けるのか —高付加価値プライベートブランドを支えるチームMD—
	5101	石坂ゼミA	演習II	アパレル小売業のビジネスモデルに関する一考察 —しまむらおよびユニクロに焦点をあてて—
	5201	竹内ゼミ	演習II	トップアスリートの動機付け —高いレベルのモチベーションはどのように形成されるのか—
	6201	韓ゼミ	演習II	大垣駅前商店街における地元ビジネスの発展と課題
	講堂	原田ゼミ	演習I	2002年日韓ワールドカップ会場「札幌ドーム」の研究
	特別賞	4101	井戸ゼミ	演習II
5101		佐藤ゼミ	演習II	アベノミクスの金融政策
講堂		樋下田ゼミ	演習I	人口減少社会における地方創生 新城市・設楽町・東栄町の事例から

菊本ゼミ A・C チームダブル受賞!!



菊本ゼミA



菊本ゼミC

W受賞の菊本ゼミにインタビュー



菊本ゼミ ゼミ長

経済学部経済学科2年
北村 雄嗣さん
(滋賀県 長浜北星高校出身)

——この度はダブル受賞おめでとうございます！
2チーム優秀賞受賞の感想をお聞かせください。

私たちのゼミは、優秀賞を目標に今回のゼミナール大会に臨みました。その努力が実り、今までにない2チーム同時受賞という結果を得ることができ、とても嬉しい気持ちと誇らしい気持ちでいっぱいです。

——ゼミナール大会に向けて、一番苦労したことは何ですか？

パワーポイントの作成から原稿の作成まで、限りある時間の中でいかに充実した発表内容に仕上げるかということに苦労しました。正直、ゼミメンバー全員の一致団結した取り組みがなければ間に合わなかったと思います。

——今回の発表を、今後どう活かしたいですか？

今回、優秀賞をいただけたことを、今後のコミュニティカフェ活動の励みにしたいと思います。また、ゼミナール大会は自分に足りない様々なことを発見する機会にもなりましたので、今から来年度のゼミナール大会を見据えて取り組んでいきたいです。



大垣駅前商店街にあるコミュニティカフェ「ちよいみせカフェ」の運営が研究成果に繋がりました



運営を支えた 学生スタッフの皆さん

広報(チラシ作成)



委員長・副委員長



司会



撮影



設営・資料配布

その他、渉外(審査員依頼)など

ゼミナール大会を終えて



ゼミナール協議会委員長
経済学部経済学科3年

小川 拓馬さん
(岐阜県 関高校出身)

まず伝統あるゼミナール大会を無事終えることができ、安堵しています。私はこの大会を通じ、支えてくれる方々の有難さを実感致しました。その理由は大会後、今回は大きなトラブルもなく、スムーズに進行できていたと教職員の方からお褒めの言葉を頂き、それは幹事会のメンバーを始めとした学生たち、また大会運営にかかわって頂いた関係者の方々のご協力に他ならないと考えたためです。来年度以降、委員長をされる方も支えてくれる方々への感謝の気持ちを忘れずに取り組んで頂きたいと思っております。



駅伝部
EKIDEN



輝け!
アスリートたち

全日本大学駅伝 東海地区出場枠を2枠獲得! 東海学生駅伝初優勝で出雲駅伝出場決定!!

11月6日(日)に開催された秩父宮賜杯第48回全日本大学駅伝対校選手権大会において、本学は熱田神宮～伊勢神宮の8区間106.8kmを5時間35分03秒で力走しました。

結果は18位。関東の大学が上限枠に達し、18位が増枠となったため、来年度は東海地区から2校出場が可能となり、無事公約を果たすことができました。

また、12月4日(日)に行われた第78回東海学生駅伝対校選手権大会では2チームが出場し(Bチームはオープン参加)、Aチームが見事初優勝!岐阜県勢では63年ぶりの快挙となりました。1区から最終区まで首位を明け渡すことなくゴールテープを切ることができました(表紙写真)。

この優勝により、東海学生陸上競技連盟から「出雲全日本大学選抜駅伝競走」の東海地区代表校として推薦いただき、2017年10月に行われる出雲駅伝に出場することが正式に決定しました。

東海地区としては5校目、岐阜県勢としては初の快挙となります。引き続きご声援よろしくお願い致します。



秩父宮賜杯第48回全日本大学駅伝対校選手権大会

区間	氏名(学年)	出身高校	記録	区間順位	累計記録
1	大垣 皓暉(4年)	富山県 富山商業高校	44分40秒	15位	44分40秒
2	平松 翔太(3年)	愛知県 岡崎城西高校	42分06秒	25位	1時間26分34秒
3	上野 立貴(4年)	岐阜県 益田清風高校	29分11秒	19位	1時間55分45秒
4	長尾 亮汰(4年)	岐阜県 美濃加茂高校	43分17秒	17位	2時間39分02秒
5	安田 翔一(4年)	愛知県 豊橋南高校	36分20秒	15位	3時間15分22秒
6	島袋 匠(4年)	沖縄県 北山高校	38分08秒	20位	3時間53分30秒
7	平良 耕陽(2年)	沖縄県 コザ高校	38分18秒	26位	4時間31分48秒
8	小藤 友裕(4年)	岐阜県 市立岐阜商業高校	63分03秒	22位	5時間35分03秒

第78回東海学生駅伝対校選手権大会

区間	氏名(学年)	出身高校	記録	区間順位	累計記録	備考
1	安田 翔一(4年)	再掲	26分12秒	1位	26分12秒	区間賞
2	長尾 亮汰(4年)	再掲	32分32秒	2位	58分44秒	
3	上野 立貴(4年)	再掲	24分55秒	1位	1時間23分39秒	区間新記録
4	鈴木 大史(4年)	岐阜県 市立岐阜商業高校	26分18秒	3位	1時間49分57秒	
5	平松 翔太(3年)	再掲	33分30秒	2位	2時間23分27秒	
6	島袋 匠(4年)	再掲	16分50秒	1位	2時間40分17秒	区間賞
7	大垣 皓暉(4年)	再掲	37分48秒	1位	3時間18分05秒	区間新記録

【優秀監督賞】 揖斐祐治監督(初受賞)



駅伝部 揖斐 祐治 監督

第48回全日本大学駅伝対校選手権大会、第78回東海学生駅伝対校選手権大会出場に際しましては、大変あたたかいご声援を賜り誠にありがとうございました。

今年度は、全日本大学駅伝では東海地区出場枠の増枠、東海学生駅伝は初優勝と来年度の出雲駅伝出場権獲得を目標に臨みましたが、選手・スタッフがー丸となり両方達成する事ができました。昨年度は、目標を達成できず大変悔しい思いをし、この一年必死になり目標を追いかけた学生たちの執念が実ったと思います。また創部4年目、4学年が揃う完成年度にこの様な結果を残せた事、非常に嬉しく思います。

全日本大学駅伝・出雲駅伝で勝負が出来るさらに強いチーム・組織を目指しトレーニングに励んで参りたいと思います。今後とも皆様からのご支援、ご声援宜しくお願い致します。



陸上競技部

TRACK AND FIELD

全日本インカレ 男子800mで2位!

9月2日(金)から4日(日)まで、熊谷スポーツ文化公園陸上競技場で行われた「天皇賜盃第85回日本学生陸上競技対校選手権大会」において、男子800m決勝で市野泰地さん(経営学部スポーツ経営学科4年三重県 津商業高校出身)が1分49秒21と、1位と僅差で2位入賞を果たしました。さらに、いわて国体成年男子800m決勝では5位に入賞し、全国レベルの大会で2大会連続の入賞という快挙を成し遂げました。

市野さんは、(公財)日本陸上競技連盟の韓日交流事業として行われた中距離選抜合宿でも、日本選手団派遣選手に選出され、リオ五輪代表の川元奨選手を始め、全日本インカレや全国インターハイの入賞者、韓国選抜選手などさまざまなメンバーと共に1週間の合宿に参加しました。また、大垣市体育連盟からも全日本インカレの成績を受けて表彰されるなど、今後も更なる飛躍が期待されます。



バレーボール部

VOLLEYBALL

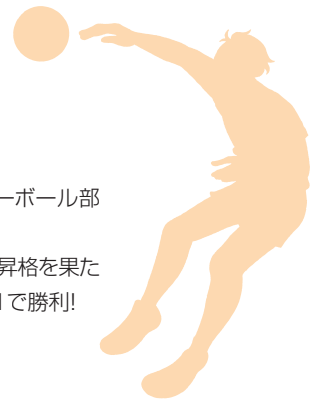
男女バレーボール部アベック優勝! 女子バレーボール部は悲願の1部昇格!!

第121回岐阜県大学男女バレーボールリーグ戦秋季大会(岐阜新聞・ぎふチャン共催)において、本学バレーボール部が男子・女子ともに優勝を果たし、アベック優勝を決めました。

10月30日(日)の東海大学女子バレーボールリーグ戦秋季大会 入替戦で東海学院大学に3-1で勝利し、1部昇格を果たした女子バレーボール部は、岐阜県リーグ決勝でも東海学院大学と対戦し、フルセットにもつれる接戦のうえ、2-1で勝利!

男子決勝は朝日大学を相手に、2-0のストレートで勝利をおさめました。

男子は2季連続6度目、女子は4季ぶり8度目の優勝となります。おめでとうございます!!



男子バレーボール部
平田 勝彦 監督

今年の岐阜県大学リーグ戦春季大会、秋季大会ともに優勝できうれしく思っています。春季はオール1年生の若手組が荒々しくも豪快なバレーで優勝、秋季は3、4年生中心のチームで繊細かつ丁寧なバレーで優勝と、同じバレーではなく様々な戦い方ができるチームへと変化しつつあります。来年からの新チームはどんなバレーをしてくれるか期待しています。来年も女子バレーボール部とアベック優勝していただけるように頑張ります。



女子バレーボール部
杉本 孝行 監督

創部13年目にして、ずっと目標に掲げていた「東海大学バレーボールリーグ1部昇格」を果たすことができました。1部昇格への入替戦には、これまで3度挑戦しましたが、ことごとく1部リーグの厚い壁に阻まれ、苦汁をなめてきました。その悔しい経験がチームと個々を成長させ、うわべだけの目標ではなく、勢いだけの勝利ではない確かな地力となり、今回の昇格に繋がったのだと思います。

来シーズンからは、これまで経験したことのない苦しい戦いになると思いますが、いずれは心技体ともに東海リーグを代表するようなチームになれるよう頑張りたいと思いますので、今まで以上の応援をよろしく願います。

内定者インタビュー

企業人育成課程協力企業

大垣西濃信用金庫に内定!



経済学部経済学科 4年
 (写真右)近藤 晋司さん(岐阜県 市立岐阜商業高校出身)
 (写真左)竹下 尚吾さん(岐阜県 大垣南高校出身)

お二人とも、「地域」がキーワードだったということですね。就職活動はどのようにされましたか。

近藤 企業人育成課程を履修しており、学長特別推薦制度を利用して就職活動をしたため、多くの企業へエントリーはしませんでした。就活の中心は協同組織という形態で活動している企業にエントリーしました。

竹下 私の就職活動は、まず自己分析から始まりました。はじめは、西濃地域の中にある会社といった漠然とした条件しかありませんでしたが、自己分析をすることによって、他の条件も浮上りました。次に、合同説明会への参加です。条件に合う会社を受けようと思っても、どのような会社があるのかわからず、なかなか受ける会社が決まらなかったため、合同説明会に参加して受ける会社を探しました。その後、条件の合った会社の説明会を受け、各社の採用試験を受けました。

その後の内定までの道のりはいかがでしたか?

近藤 夏のインターンシップで、大垣西濃信用金庫で実習したことを契機に金融業界へ行くこと考えました。自分で定めていないと感じた金融の知識、資格、一般常識など様々なことを学びました。また、自分の足りない部分に目を背けずに努力し続けました。そのおかげで、充実した就職活動を送ることができ、非常に良い経験になりました。

竹下 私は、周りの就活生に比べて、受けた会社の数が少なかったため、余裕を持った就活ができたと思います。一番初めに受けた会社は不採用となり、落ち込みましたが、役員面接をその会社で経験し、その後



「企業人育成課程」では互いに切磋琢磨しました。

つながることができました。就職活動で、内定が出た企業、出なかった企業等の経験により、自分が成長し、大垣西濃信用金庫の内定につながったと思います。

最後に、お二人から後輩へのアドバイスをお願いします。

近藤 就職活動を控えている3年生は人生がかかった大きな分岐点となります。今、全力でやらなければ、必ず後悔すると思います。就活で得た経験は社会へ出た時力となり、自信となります。1、2年生の人は、学生生活で何をしてきたのか言えるように有意義な毎日を送ってほしいです。

竹下 私は、他の人に比べ、受けた企業が少なく、どちらかと言えば、周りにおいて行かれたような就活をしました。しかし、それが悪かったとは思いません。私は自分が受けた会社をしっかり準備して受けることができました。就活は、一人ひとり全く違うものです。なので、周りに引く張られず、自分の納得のいく就活ができれば、良い結果につながると思います。

———ありがとうございます!———

2016年度卒業予定者の主な内定先(五十音順) 2017年1月31日現在

公務員・教員	愛知県教員、大垣市役所、大野町役場、大阪府警察、香川県警察、岐阜県警察、京都府警察、警視庁、防衛省自衛隊
民間企業等	ICDAホールディングス(株)、(株)あさひ、(株)一条工務店、揖斐川工業(株)、イワタニ東海(株)、(株)インフォファーム、ウエルシア薬局(株)、(株)おいち、(株)沖縄銀行、(株)沖縄海邦銀行、大垣西濃信用金庫、(株)オークワ、春日井製菓(株)、カネ美食品(株)、河上薬品商事(株)、木曾農業協同組合、ぎふ農業協同組合、(株)クスリのアオキ、(株)クレディセゾン、ゲンキー(株)、(株)コスモス薬品、サンラীগグループ、(株)シモジマ、生活協同組合コープぎふ、西濃運輸(株)、セコム(株)、(株)扇港電機、タマホーム(株)、(株)トーカイ、東濃信用金庫、(株)富山第一銀行、トヨタカローラ岐阜(株)、豊田合成(株)、豊臣機工(株)、(株)ドンキホーテ、名古屋製酪(株)、西美濃農業協同組合、日本貨物鉄道(株)、日本郵便(株)、濃飛西濃運輸(株)、(株)パローホールディングス、(株)ビッグモーター、(株)富士通ソフトウェアテクノロジーズ、(株)平和堂、本田技研工業(株)、(株)ヤマ食、リゾートトラスト(株)、(株)琉球銀行、LEGOLAND Japan(株)、(株)ローソン 他

Close-up OB

OB紹介

1

親子で支える地域経済

Q1. 現在の業務内容について教えてください。

地元金融機関の東濃信用金庫に勤務し、現在は支店長として3店舗目の志段味支店(名古屋市)に勤めております。地域金融機関として、地域活性化へ向けての取組み、様々なニーズや相談に応える業務を行っています。

Q2. 在学中はどのような大学生活を送っていらっしゃいましたか？

大学2年までは、出来る限り午前講義を集中させ、午後から地元陶磁器製陶所でバイト。3年までにほぼ単位を取得し、4年時は大迫ゼミに所属。土岐市から大垣まで2時間以上をかけて電車通学していました。旅行資金を貯め、友人と夏休みや卒業前に旅行に行き、充実した学校生活だったと思います。

Q3. 大学で学んだどんなことが、現在役立っていますか？

経済学を学ぶ中、将来地域に貢献できる人材になることを目指し、地元地域経済に興味を持って講義を受け、地元の東濃信用金庫に就職出来ました。自分の想いと「地元と共にあり、共に栄える」の金庫の経営理念のもとに、地域社会の持続的発展を目指し努めております。

Q4. ご子息も本学の卒業生でいらっしゃいます。今後ご子息に期待することを教えてください。

息子も地域経済に興味を持ち、企業人育成課程を履修し地元の企業様との関わりを自分自身の強みにし、ご縁があって大垣共立銀行に就職させて頂きました。地域や地域のお客様・企業のお役に立てる人材になる為に自己啓発に努め、体を大事に日々の業務に努めてほしいと思います。



東濃信用金庫志段味支店 支店長

宮川 浩康さん

経済学部経済学科(1986年度卒業)

[左はご子息の昂久さん・経済学科2015年度卒業]

OB紹介

2

韓国のサッカーリーグで日本の「スポーツマンのこころ」を実践する

本学を卒業後、サッカーのイングランドリーグで1年間、韓国リーグで1年間の選手生活ののち、韓国で2年半コーチを務め、2016年度K2リーグの優勝チームから、新設チームのフロントスタッフとしてスカウトされたイ ジェヨンさん。11月24日から1ヶ月間、山梨のヴァンフォーレ甲府で、チーム運営や営業、法律等を学びながら、チームの地域奉仕活動に積極的に関わること、目指すべきサッカーチーム運営について学び、その様子は山梨日日新聞(11月26日号)にも掲載されました。

Q1. スカウトのきっかけを教えてください。

2016年度にK2リーグで優勝した「安山ムグンファFC」が、新たに来季から地域区団を作ることになり、プロサッカー選手の経験があって、スポーツ経営に関する知識を持つ、日本の大学出身者ということで、声をかけていただきました。ヴァンフォーレ甲府のようなチームを作りたいというオーナーの理想に応えたいと思い、引き受けました。

Q2. ヴァンフォーレ甲府での研修はいかがでしたか？

毎日営業やクラブ運営、法律などについて研修を受けながら、地域での奉仕活動を行いました。病院や保育園、幼稚園、高等学校など、本当に多くの地域活動を行いました。年に300回もこういったイベントを行うそうで、イベントやボランティア活動を通じて、いかにヴァンフォーレ甲府が地域から愛されているのかを、身をもって知ることができました。

Q3. 大学時代に学んだどんなことが役立っていますか？

サッカー選手としては、在学中は怪我が多く苦労しましたが、サッカー一部監督の高橋正紀先生には、本当にたくさんの方の事を教えていただきました。サッカーだけ上手くなればいいのではない、「スポーツマンのこころ」というものを繰り返し私に教えてくれました。自分がコーチになって、その意味がようやく理解できるようになり、甲府での地域活動の間、何度も大学時代を思い出しました。

Q4. 在学生へのメッセージを一言お願いします。

楽な道を選ぶのは簡単ですが、大変な時期がなければ明るい未来もないと思います。少しでも困難なことにチャレンジする勇気が大切です。チャレンジするためには準備や努力が必要であり、そのことを学び、準備できる場所が大学ということです。



韓国プロサッカーリーグ(K2)「安山市民球団」フロントスタッフ

李 制詠(イ ジェヨン)さん

経営学部スポーツ経営学科(2012年度卒業)



イングランドの選手時代(後方右から3番目)

女子ソフトボール部が小・中学生を対象にソフトボール講習会を開催しました。

女子ソフトボール部では、試合のない時期に地域の小・中学生を対象としたソフトボール講習会を開催しています。

11月27日(日)には、神戸町ソフトボール協会、同町教育委員会と共催でソフトボール教室を開催しました。あいにくの雨で、本学体育館での講習会となりましたが、皆さん活発に取り組んでいました。

また、12月10日(土)には、岐阜市立長森中学校でソフトボール講習会を開催し、精華中学校・島中学校・境川中学校・岐阜西中学校・長森中学校・岐北中学校の6校から、計85名が参加しました。

毎年この時期に講習会を開催していますが、学生たちは指導することの難しさに直面していました。また、小・中学生の皆さんは楽しそうに講習会に参加していました。



本学体育館



岐阜市立長森中学校



キャンパス 彩々 Campus Saisai

谷江幸雄教授が最終講義を行いました。

本年度末をもって退任される谷江幸雄経済学部教授(元学長)が、1月27日(金)に最終講義を行いました。

講義は「ソ連の『社会主義』とは何だったのか」と題し、ソ連崩壊の真の原因が、コンピュータを中心とする世界的な技術革新の波に、ソ連の一党独裁の情報統制型の政治・経済システムが適合しえなくなったところにあると解説されました。講義終了後には1999年のロシアへのゼミ旅行のビデオも上映され、モスクワ大学での学生交流、農村での交流等の映像が流れる中、駆けつけた卒業生も懐かしく当時を思い出していました。

谷江教授は2009年2月から2013年1月までの4年間学長を務めました。2013年4月には、大学の地域連携や大垣市の都市計画・市民活動の推進に尽力した功績が認められ、大垣市功労賞を受賞しました。



ラジオの公開生放送・JAにしみの農業祭で沖縄県人会が「エイサー」を披露しました。

本学の沖縄県人会は、地域の行事や社会福祉施設等で沖縄伝統芸能の「エイサー」を披露し、地域貢献活動をしています。

10月2日(日)には、CBCラジオの特別番組「OKB大垣共立銀行1DAYスペシャル」の公開生放送で、本学の紹介に合わせて沖縄県人会の皆さんが登場し、市民の前で演舞を披露するサプライズイベントに、観客から拍手がおこりました。

また、11月26日(土)、27日(日)に大垣市公設地方卸売市場で開催されたJAにしみの農業祭では、1,000人を超える来場者を前にエイサーを披露し、子どもからお年寄りまで、幅広い世代の方々に楽しんでいただくことができました。両日もエイサーを披露し、2日目は雨の中での演舞となりましたが大勢の方々に見ていただき、たくさんのお礼の言葉と温かいご声援をいただきました。

今後も、様々な地域の行事や学校行事などに参加して、地域貢献活動に取り組んでいきます。



JAにしみの農業祭での演舞



ラジオ番組ではサプライズで登場

第50回岐経祭開催! テーマは「LINK」

50回目となる「岐経祭」が、昨年11月19日(土)、20日(日)に渡って開催され、多くの来場者で賑わいました。

メインイベントとなるアーティストライブには、仙台出身のシンガーソング・エンターテイナー「ハジ→」を迎え、会場を埋め尽くすほどの人たちで盛り上がりました。また、経大名物の模擬店や、毎年好評のお化け屋敷、沖縄県人会のエイサー披露など、学生たちの運営により盛況の2日間となりました。



ダンス部



沖縄県人会



女子ソフトボール部



学生会(お化け屋敷)



ギター部



ボランティア・ラーニングセンター



のど自慢



硬式野球部



陸上競技部



後夜祭



岐経祭実行委員長 金森 啓介さん
(経済学部経済学科3年 福井県 美方高校出身)

今年の大学祭のテーマは「LINK」で、大学祭の準備、協力をしてくれる人や来場してくれる人まで、全ての人とのつながりを大切にして、みんなで盛り上げようというものでした。大学祭に関わった全ての人のおかげでテーマに沿ったものになり、成功させることができました。来年は50周年記念の大学祭になりますので、ご協力のほどよろしく申し上げます。

◀ 新聞社を訪問し、岐経祭をPR(右は副委員長の太田伊代さん)

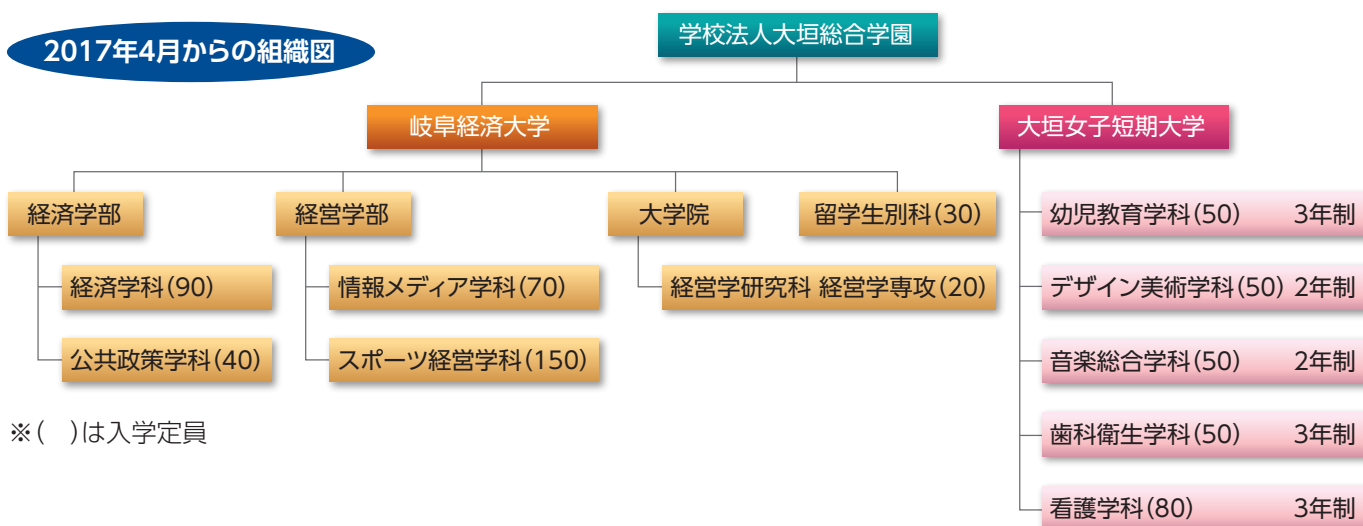


学校法人岐阜経済大学は、2017年4月 岐阜経済大学と大垣女子短期大学を設置する法人 「学校法人 大垣総合学園」となります。

学校法人岐阜経済大学と学校法人大垣女子短期大学との法人合併については、2016年10月27日に所轄官庁への認可申請手続きを行い、2017年1月11日付けで文部科学大臣から認可を受けました。

認可後は、2ヶ月の公告期間、法人設立登記を行い、2017年4月1日から、学校法人大垣総合学園はスタートし、岐阜経済大学と大垣女子短期大学を設置する法人となります。

今回の新法人設立の目的は、私立学校を取り巻く環境が厳しくなる中、法人経営の基盤の強化、安定化とともに、新法人が設置する岐阜経済大学と大垣女子短期大学が互いに異なった教育リソースを有し、地域における「知の拠点」として、教育、文化、地域振興、スポーツ、健康福祉など、様々な分野における地域貢献の可能性を広げることにあります。今後も、これまで以上に地域貢献を推進し、常に地域での存在感を示すとともに、この西濃地方における高等教育機関、公私立の高等学校など、教育機関が集う学園都市（西濃学園都市）の実現に近づけていきたいと思ひます。



学校法人 岐阜経済大学 (平成29年3月)	
(1) 法人設立・大学開学年月：1967年(昭和42年)4月	
(2) 建学の精神：創造発見 知才涵養 資質発揚 地域貢献 社会的使命：創知資地(知を創り地に資する)	
(3) 初代学園長：大垣市長 山本 庄一氏(当時)	
(4) 現 理 事 長：土屋 嶮 ((株)大垣共立銀行 取締役頭取)	
(5) 教職員数(平成29年3月31日現在)	
専任教員 51人	
専任職員 39人	
※スポーツ指導職員8人を含む	
(6) 卒業生累計(平成29年3月卒業まで)	
25,034人	
(内訳)学部 24,546人、大学院213人、留学生別科 275人	

学校法人 大垣女子短期大学(平成29年3月)	
(1) 法人設立・大学開学年月：1969年(昭和44年)4月	
(2) 建学の精神：中庸を旨とし 勤労を尊び 職業人としての総合能力を有する 人間性豊かな人材の養成	
(3) 初代理事長：大垣市長 山本 庄一氏(当時)	
(4) 現 理 事 長：中野 哲(大垣市民病院 元院長)	
(5) 教職員数(平成29年3月31日現在)	
専任教員 50人	
専任職員 18人	
(6) 卒業生累計(平成29年3月卒業まで)	
25,210人	

教職員人事

新学長・副学長が選任されました。 4月就任

石原健一学長の任期満了に伴う学長選考が行われ、12月22日に開催した理事会において、次期学長として、経済学部の山田武司教授が選任されました。任期は2017年4月1日から2021年3月31日までとなります。

また、次期学長指名による副学長2名には、学生募集・入試担当副学長として経営学部の高橋正紀教授が、地域連携担当副学長として経済学部の高橋利行教授が、それぞれ指名され、同日理事会で承認されました。

4月からは新体制の下、大学改革に向けてスタートします。



山田 武司
次期学長



高橋 正紀
次期副学長
(学生募集・入試担当)



高橋 利行
次期副学長
(地域連携担当)

新規採用



2016年9月21日付
横倉 真弥
経営学部講師
名古屋大学大学院文学研究科
人文学専攻博士後期課程修了
博士(文学)



2016年12月1日付
木庭 啓
学生課・スポーツ振興室専門員
兵庫県立西脇工業高等学校卒業



2017年2月1日付
天川 伊織
総務課主事
国立豊田工業高等専門学校専攻科
情報科学専攻卒業

【訃報】

本学経営学部教授 加藤由紀子氏が、7月21日逝去されました(享年64)。加藤教授は2002年4月に就任以来、「日本語」「日本のことばと文化」などを担当。留学生別科の運営にも携わり、熱心な語学研究と高い指導力で、日本人学生のみならず留学生の教育にご尽力いただきました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



学校法人大垣総合学園役員・評議員一覧

2017年4月1日より、学校法人大垣総合学園の役員・評議員に、次の方々が就任します。

理事長	田口 義隆	セイノーホールディングス(株)代表取締役社長CEO
副理事長(常勤)	中野 哲	前(学)大垣女子短期大学理事長
副理事長(非常勤)	浅野 照章	前(学)岐阜経済大学副理事長(常勤)
理事	神門 純一	岐阜県副知事
理事	小川 敏	大垣市長
理事	川上 孝浩	大垣市議会議長
理事・評議員	土屋 嶮	(株)大垣共立銀行取締役頭取
理事・評議員	岩田 義文	イビデン(株)イビデングループ代表相談役
理事・評議員	小川 信也	太平洋工業(株)代表取締役社長
理事・評議員	安田 隆夫	安田電機暖房(株)代表取締役会長
理事	堤 俊彦	日本耐酸塩工業(株)代表取締役会長
理事	田中 良幸	サンメッセ(株)代表取締役会長
理事	金岡 祐次	大垣市民病院院長
理事・評議員	山田 武司	岐阜経済大学学長
理事・評議員	曾根 孝仁	大垣女子短期大学学長
理事・評議員	高橋 正紀	岐阜経済大学副学長
理事・評議員	高橋 利行	岐阜経済大学副学長
理事・評議員	石川 隆義	大垣女子短期大学副学長
理事・評議員	服部 篤典	大垣女子短期大学副学長
評議員	浅野 妙子	(社福)大垣和敬会理事長
評議員	今川 喜章	(株)丸順代表取締役社長
評議員	岩井 豊太郎	岐阜県議会議員
評議員	岡崎 和夫	揖斐郡町村会会長(池田町長)
評議員	片野 雅文	(一社)大垣歯科医師会会長
評議員	金森 勤	(株)大光名誉会長
評議員	河合 進一	河合石灰工業(株)代表取締役社長
評議員	五藤 義徳	(株)大垣共立銀行執行役員 (株)OKB総研社長
評議員	中村 博宣	(学)大垣日本大学学園前副理事長
評議員	西脇 史雄	大垣西濃信用金庫会長
評議員	日比 利雄	(株)エヌビーシー代表取締役社長
評議員	蛭川 義高	岐阜県立大垣北高等学校校長
評議員	松永 清彦	海津市長
評議員	三輪 高史	グレートインフォメーションネットワーク(株)代表取締役会長
評議員	堀 富士夫	(株)デリカサイト代表取締役FOUNDER(会長)
評議員	武藤 鉄弘	美濃市長
評議員	服部 信夫	(株)市川工務店取締役会長
評議員	安田 良邦	岐阜経済大学校友会会長
評議員	北村 君子	大垣女子短期大学同窓会会長
評議員	関谷 智子	大垣女子短期大学同窓会副会長
評議員	光井 恵子	大垣女子短期大学幼児教育学科准教授
評議員	日比野 亜沙美	大垣女子短期大学同窓会副会長
評議員	宇佐見 正史	岐阜経済大学経済学部長
評議員	高橋 信一	岐阜経済大学経営学部長
評議員	松村 齋	大垣女子短期大学幼児教育学科長
評議員	田中 久志	大垣女子短期大学デザイン美術学科長
評議員	我部山 キヨ子	大垣女子短期大学看護学科長
評議員	渡辺 正典	岐阜経済大学事務局長
評議員	高橋 信一	大垣女子短期大学事務局長
評議員	塚原 康之	(学)大垣総合学園理事長室長
監事	山本 讓	大垣市教育長
監事	矢橋 慎哉	矢橋工業(株)代表取締役会長
監事	浅野 圭一	東海サーモ(株)代表取締役社長

研究室
だより



機械産業の技術発展をめぐる 経済・経営の諸問題を探る

かん きん こう
韓 金江 教授
経営学部



私の研究テーマは機械産業の技術発展をめぐる経済経営の諸問題です。機械産業の中でも、特にモノづくりの基本である工作機械や、道路橋梁などのインフラや住宅の建設のための建設機械、および農作業や農産物加工に欠かせない農業機械に関心をもっています。様々な機械製品は絶えず進化していますが、それは技術発展によって実現しています。

研究者の道を歩み始めた頃、つまり立命館大学大学院の修士課程で国際技術移転論を専攻しました。国際技術移転論は学際的な学問で、技術論をはじめ貿易論や海外直接投資の理論さらには多国籍企業論および技術戦略論とも深く関連しています。修士課程ではこれらの理論研究を行いました。

博士課程では、研究対象を中国の機械産業に絞り、同産業の技術発展を研究しました。中国などの途上国の産業発展には、先進国からの技術導入が不可欠で、国際技術移転が重要な役割を果たしています。博士論文をまとめるため、産業と企業との「技術進歩メカニズム」という理論を構築しました。博士論文で初歩的な研究成果を上げたとは言えますが、やはり理論体系的構築は長い歳月の研究蓄積が必要で、更なる精進を重ねなければならぬと実感しています。

最近、IoT(モノ)のインターネットの機械産業への応用が注目されています。私も今後の実証研究の中でこの新しい動向、特に農業機械におけるIoTの応用から企業経営へのインパクトを研究しようと考えています。

PROFILE

中国北京の出身です。北京工業大学経済管理学院で国際経済法を学びました。1992年に来日し日本語を学んだ後、1995年に岐阜経済大学経営学部産業経営学科に入学しました。本学卒業後は立命館大学大学院経営学研究科に進学しました。博士課程の時に経営学部助手として採用され、研究のかたわら学部生のプロジェクト研究セミナーも担当しました。2004年、京都創成大学(現福知山公立大学)に勤め、講師、准教授、教授を歴任し、国際経営論、中国経済論、経営戦略論、および生産システム論を担当しました。そして、2014年4月に母校である本学に着任しました。

趣味拝見

私の趣味は卓球です。父の友人が中国の有名な卓球選手の李富栄氏だったことが影響し、小学生の頃から近所の友達とよく卓球で遊びました。しかし、中学生以降は勉強も忙しくなり、卓球から遠ざかっていました。

再び卓球をやり始めたのは、前任校のある福知山市の卓球協会との出会いです。3年半、週1回のペースで、福知山市卓球協会のメンバーや地域の卓球愛好者と本格的に練習を行なってきました。地元の大会にも出場し、初級クラスですが優勝したこともあります。本校に赴任してからは卓球から離れていますが、機会があれば大垣でもぜひ卓球をしてみたいと思います。



ナマズの博覧誌

秋篠宮 文仁、緒方 喜雄、森 誠一(著、編集)
誠文堂新光社 2016年10月



経営学部 教授
森 誠一

自然科学、人文科学、社会科学の各分野における第一人者や気鋭の研究者、研究家、作家らがそれぞれの専門や独自の視点から「ナマズ」を縦横無尽に論じる稀代の一冊。ヒトはナマズをどのように眺め、どのように接し、食べ、ときに畏れてきたのか、そしてヒトはナマズをどこまで解き明かしたのか。ヒトとナマズの数千年にわたる関係史、文化誌のすべてを網羅。

淡水魚保全の挑戦： 水辺のにぎわいを取り戻す理念と実践

渡辺 勝敏、森 誠一、日本魚類学会自然保護委員会
東海大学出版部 2016年12月

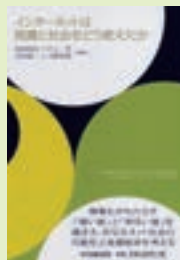


経営学部 教授
森 誠一

日本魚類学会市民公開講座での議論を基に、身近な生物多様性構成員である淡水魚の保全を積極的に進めていくための理論と実践をまとめている。様々な調査報告、研究、水辺環境の保全、保全活動の悩みなどの紹介は役立つに違いない。

インターネットは流通と 社会をどう変えたか

阿部 真也・江上 哲・吉村 純・大野 哲明編著(共同執筆)
中央経済社 2016年9月



経営学部 専任講師
中西 大輔

インターネットと流通・マーケティングに関する著作は巷に溢れています。しかし、その多くは、「いかに利潤をあげるか」の解明を目的とし、その手法を展開しているに過ぎません。つまり、資本主義経済体制そのものへの問題意識を欠いたままに書かれています。そうした中で、本書は、現実のネット社会がもたらす「暗い面」と「明るい面」を踏まえながら、次なるネット社会の可能性を、流通経済論を通して分析しています。